「ヘー、それでがあるんやてー

笑顔を作って見せた。

「さすがに、

あれには

「ペンキの服ってさ、

落とすと、コッチンと音

び紫式部の色した

座布団 でな、坊さんが座るよう

に、温度が違うんやて」

まってから自分でリで、仁美との結婚が決

ね」仁美は、

ムした。家は古

が楽しい

仕掛けがある。

「狭くない。ひー君と二井の雨染みを見上げる。

会、、

ちょうどい

髪が触れた。

「この家狭くない?

顔を背けると耳元に長い

て言ってるの?」

「ハハハ、どんな顔

「見せへー

~」クルッと

んの時と同じ新聞紙なの

第8話

たって

で、わざりざるハニティリの店が稲葉神社の近く

きゃー』って、うどん屋さき ゃ う で こ れ 敷

わざわざ買いに行っ てゆうとった。それ

年の春に、ペノーいやー

ペンキを塗ら

いたら裏返して使う

でした」仁美は、茶碗を

て、ちゃかす。ご馳走様

「そーいやーなぁ。今用ガエルが「グワー・グ

よ上がりゃー。ペンキ付にー。汚れてもえーで早

持って、『弘士―、なにな ホッカホカのおしぼりな、電子レンジで温めた

もちかー?」

もし、

すぐそうやっ

うした、何笑っとる。草

ないんだよね。・・仁美ど

は、給与が入ると昼休

『横川

様一』と、よそよ

にトラックを走らせて銀

そしく呼ばれて通帳を受

け取ると、小さなメモ書

のに、そこは謎のままだ。 「ひー君、何等」 「ひー君、何等」

の後ろから手を回し首元の?さっきから顔がニヤ

と、どぶ川の橋の下で食ンポンと撫ぜる(なぜる)

弘士が、仁美の碩を吊

に座って休憩しとったら座れんで窓の下の靴脱石

ん。一度質うこう、汚れても気にならんや

田中茂<8>

箱。 知ってい

いる床下貯金

に気づかれないように嬉 美は窓口で、周りの同僚

したのー』って聞

か

しそうに笑う。業務で後

いく。二人だけ

がして床下の瓶にお金が

「いらっ」

しゃいませ』仁

きが添えられていた。

「髪飾り、

二年前、銀行員の女子三 したコンパで出会った。 に美とは、連れが企画

ろを振り向くと髪飾りが

チラッと見えた。それは

一度着るとやめられ

のがきっかけ。あの頃人とボーリングに行った

ルカの髪飾り。

その日暮らしのような

しかし、不思議なのは、

ンキ屋と、なぜ結婚した

ンブルーに透き流

したマリ

た時には結婚して

いた。そして、気がつ

-に透き通ったイ

イルカの髪飾り

してもらった劇団のマナ

ちゃ

ん。十時の一服の

「ヒヒヒー、笑える」で』って」

載った緑茶と、草もちが時、緑側でな。茶たくに

の上は暖かいでええ「マナちゃんにない」石

「マナちゃん

洗い物の音をバックに、いくと、いつものように 重ねて奥の台所に持って

譶に並んでてな。 草も

旦那さんお気に入

らごそごそ新聞紙出して

りまで付い

んでいた2Kのはなれこの家は、昔、両親が住

になく

ヘリノリで当て振

0

さんの、ひー君が

- 君がいい

に頬を寄せた。

「仁美はね、

よー』って言うとな、奥か

を歌った。今日は、 最近流行の『サラダの歌』 適正な労務管理がトラブルを防ぐ

強くチャンス の質が向上 の質が向上

から思われ

んれる会社にしな

いていて良かった、と社員になった。うちの会社で働

で、プロック研修会を開村区名駅のウインク愛知県名古屋市中時から愛知県名古屋市中時から愛知県名古屋市中

ところもあると聞く。

健

り、大企業であっても

された

できていない

大企業であってもき

メントをして

康経営と合わせ仕事の

営に繋がる、

商会の山矢卓社長が行い、 歓談に入り、中締めを山矢

| ブロック(湊正俊ブロ日本塗料商業組合中

ロック長=写真=は「今」あいさつに立った湊ブ

続いて日塗商の海老名に役立てたい」と述べた。

営~」

秀な人材の確とにより、優

店の小坂好弘社長が行

乾杯の発声を吉山塗料

健康経営

組織メンドを学ぶ

形成されるこ な職場環境が

料

支部長―写真―は

道ブロック(高倉雄司) ロック長<サンヴェ

日本塗料商業組

ない」と述べた。

講演では、

の大磯隆氏(ぽぷら

時間が下がるなかで売上

改革が始まる。年間労働から中小企業にも働き方

今日の研修を自社に活かが開かれ、高倉支部長が概修会終了後、懇親会

いあんで、ブロック研修市青葉区本町のパレスへ

いあんで、

社長>)は、

2 月12 日午

「働き方改革について… 社会保険労務士法人)が

これからの就業のありか

を述べたあと、日本の

さんにはたいへんなおも

体験談交えたBCPを学んだ

MS&ADイン

BCPに対する が、また「私の ターリスク総研

商福島県支部長

てなしを受けた、と感謝

において北海道支部の皆孝氏は、昨年秋の理事会

の日塗商理事長の海老名 していこうと述べ、来賓

労務を取り巻く

でも個人消費の動向予測トップ企業30社の経営者

後4時から北海道札幌市

一ホテルで、ブロック研中央区南7条西の札幌第

正などについて話した。 環境・背景、最近の法改

修会を開いた。

あいさつに立った高倉

理がトラブルを未然に防

とになる。また、快適

でいこう」と呼びかけた。常に努力を怠らず、知恵と勇気をもって取り組んとし、翻って「われわれは

部ブ

口

ツ

ク

最後に、適正な労務管

先が読めない時代である

にばらつきがあるなど、

北海道、

ブ

口

ツク

や「BCP」等一介している。

働き方改革で職場環境を改善

ブロック研修会を開催.

いて参加者は自社で

B

| 一が常々大事だ | 一が常々大事だ おいて、業界でブロック活動に 課題となってい と主張してきた る「働き方改革」

社公式HP『WEB塗料 ついては、塗料報知新聞 報知』(https://www 的に学んだ。 の実践の糧とすべく精力 .e-toryo.co.jp) で紹



を 長=写真=は「東北地域 では毎年災害に見舞われ では毎年災害に見舞われ を満じても長 って定着させるかと



開催する。

見舞金の制度ができた。

話し、「無形のオリンちに副うものと思う」と

その後、懇親会が開か が「東日本大震災後のお が「東日本大震災後のお

話 **だい記づものと思う」と** 災を受けた方々のお気持

(一べき災害(地震津波水)が、②仙台市で考慮すか、②仙台市で考慮する)が、②仙台市で考慮する。

①過去の事例から学ぶ教

日々備えをすることが被

るなど、 被害、また想定をはるか 状況などを映像で振り返 津波とその後の汚染水の 設への高さ15メー に超える福島第一原発施 体験談が話され

ン | て記憶に留めていこう」 | しいただいた感謝を発信し | 復興に向けての各国から | ピックレガシーとして、 |

などと呼びかけた。

が行い、閉会のあいさつ転杯の発声を日塗商岩

に応じたBCPのポイン に応じたBCPのポイン など)について、BCP (緊急時体制の構築、

0

賀城市で業務にあたって 大震災発生時に福島・多 た同氏による、松 し寄せる津波による 日の東日本

もって事業展開を図ろ 要を求め、勇気と希望を 要を求め、勇気と希望を の流れに応じて商売をし 組織内の課題についても トについて話した。また、を用いた組織マネジメン はじめに渡邉氏は識学

ワークで解説を行った。 識学に基づいたフレー

実践体制、健康づくり施 思、 健康経営優良法人の認 た を 団体定期保険に 大樹 広域法人営業部 した 生命保険公共・ た 生命保険公共・ た 生の一環として これて 100円で 康経営の5つのステ 方改革と絡めた健康経営界専門紙と連携し、働き いても、今回で終

和伸氏が行った。 を日塗商専務理事の渋谷

東北ブ C P 災害 口 ツ 0 策

生支部長<富士塗料興業 塗商宮城県支部(星合邦会を開いた。今回は、日 社長〉)がホストを務め 冒頭、佐々木ブロック

BCPのポイント」では、 「過去の事例から学ぶ

料商会社長)が、それぞれ行った。 の吉仲真也氏(アサカ塗 定着 を

する体験談」では、

か」を渡邉健太氏(識学) メントをしていません講演は「こんなマネジ

のであるとし、安心に繋がるも

健康経営などを認識した

勧

の必要性、取組みについ 人命安全確保対応の徹底 また 「私のBCP

ちゃった」教科書のよう な綺麗な文字で書かれて 製薬)がそれぞれ行った。 う!~私たちもできるが、「健康経営を始めよ 号~」を伊藤謙吾氏(大塚・企業における健康経 、先輩に『どう